

KOSEN の窓

有明高専では、地域の科学技術教育の充実・発展に寄与するために、広く技術や教育の支援活動を行っています。有明高専内に平成20年度から地域教育支援委員会を設置し、今年度からはより強力に支援活動を推し進めるために、地域共同テクノセンター内の地域教育支援部へと進化しています。今回はその活動についてお伝えします。

の歴史は古く、組織化以前から公開講座やロボットのコンテストなどを長年実施していました。19年から地域の小・中学生と深く関わるために大牟田市教育委員会と、また22年からは荒尾市教育委員会と連携協定を結んで、専内で実施する地域の

「なるほど！おもしろい！」 を地域の子どもたちへ

地域共同テクノセンター
地域教育支援部長

原 積 真也

きました。
協定により両市の小・中学校でたくさんのお出前授業が実施できるようになり、昨年度はさまざまなテーマで13件の授業を実施しました。授業を通して多くの子どもたちに

科学技術の面白さや不思議さ、すごさを体験してもらいました。特に人気のある授業は「液体窒素実験」、「クリップモーター」、「巨大空気砲」でした。また協定では、有明高専内で実施する地域の「なるほど！おもしろい！」を地域の子どもたちへ、面から本校を知っていた、多くの重要なイベントで実施しています。今年も千人を超える参加がありました。また「ロボットコンテストJrリーグ」、「LEGOロボ大作戦」、「エレクトロニクス・ものづくり体験教室」などのイベントを行っています。その他、地域主催の各種イベントで、ロボット実演や実験・工作教室を開いたり、大牟田市生涯学習まちづくり推進本部との連携で市民大学講座を実施しています。地域教育支援部は、これからも地域へのサービスを充実を進めていきます。気軽にイベント会場へ足を運んでください。
(不定期掲載)



有明高専

オープンカレッジの工作教室で
ものづくりを楽しむ子どもたち